



「E131系によるワンマン運転実施後の問題点」 に関する緊急申し入れを行う！

地本は、2021年3月のダイヤ改正から実施されたE131系によるワンマン運転に対して、設備・運用・教育・訓練や異常時対応等について議論してきました。しかし、施策実施以降、「車内モニターの表示不良」や「地上子の設置箇所が遠いためブレーキ動作をしてしまう」「車外カメラが塩害により曇ってしまう」等の問題点が報告されています。更には「十分な教育や訓練を行うべき」と議論してきたのにも関わらず、突如として木更津運輸区ではE131系の分割・併合の作業手順を実施前日にタブレット配信するという事態になっています。

当然、職場の混乱は把握していると思いますが、現実には不安の声が上がり、ダイヤ改正以降、変行路ばかりで出勤時間すらよくわからないという不満が渦巻いています。また、安全を軽視した作業内容の行路があることに対して、ダイヤ改正前に定例訓練で周知すべき内容であり指導体制にも不信感が募っています。

JR東日本の施策は安全が大前提であると打ち出されているはずですが、その事が軽視される事態は、健全で安定した経営を目指すJR東労組千葉地本として看過することはできません。

地本は、「安全・健康・ゆとり・働きがい」を担保しつつ、効率的な業務執行体制で経費を抑えた施策の実施により、厳しい経営状況を乗り越えるためにも職場からの声と諸情勢を基に、お客さまに信頼され、安全で安心して働きがいの持てるワンマン運転を実現するために、下記の通り緊急で申し入れを行いました。今後団体交渉を行います。

《要求項目》

1. 木更津運輸区において、E131系での分割・併合作業が開始された経緯を明らかにすること。また、社員周知の仕方や教育・訓練の体制、車内巡回をしている社員の役割についての考えを明確にすること。
2. E131系での分割・併合作業に対して不安を感じていることから、初回は指導担当が必ず立ち会うこと。なお、初回だけでは不安が残る社員には解消するまで立ち会うこと。
3. ダイヤ改正に伴う作業内容の変更点についての社員周知及び、教育・訓練を徹底すること。

職場で同じ様な事は起きていませんか？安全は経営のトッププライオリティです！
私たちが安全で安心して担える施策を各職場からつくり出そう！